

藤本 光治 (ふじもと みつじ)

■ 略歴

- 1985年 日本歯科学院専門学校卒業
- 1994年 (医) 健志会 ミナミ歯科クリニック
- 2000年 大阪セラミックトレーニングセンター非常勤講師
- 2004年 (有) デンタル・クリエーション・アート
- 2006年 (医) 健志会 ミナミ歯科クリニック主任歯科技工士
- 2007年 新大阪歯科技工士専門学校専攻科非常勤講師
- 2008年 大阪 SJCD 臨床テクニシャンコース講師 (現コースディレクター)

■ 所属

- ・大阪府歯科技工士会会員
- ・日本臨床歯科学会大阪支部 (大阪 SJCD) 理事
- ・日本顎咬合学会指導歯科技工士
- ・日本歯科審美学会会員
- ・日本歯科技工学会会員

メインテーマ： 『 補綴修復治療における歯科技工士の役割 』
～デジタル時代だからこそ必要な技術・知識～
第2回 審美修復治療におけるクリニカルガイドライン
～ *Balancing the esthetic and function* ～

■ 抄録

今日、前歯部審美補綴治療の分野においては手技の確立、マテリアルの進化、あるいはCAD/CAMなどのデジタルテクノロジーの進化、発展による治療結果のクオリティーの向上には目を見張るものがある。

しかしながら審美修復治療における成功とは色調・形態ともに自然で美しく、それらが顔貌・口唇に調和していることが大前提であることは言うまでもないが補綴物の具備すべき条件として *Esthetic* (審美性) はもちろんの事、それ以外に *Function* (機能性)・*Biology* (生物学的調和)・*Structure* (構造力学的安定) を兼ね備えていなければ長期的な維持・安定を得る事は出来ない。

今回は審美修復治療に携わるテクニシャンとして知っておくべき基本概念について以下のコンテンツに則ってお話しさせていただき皆様の明日の臨床の一助となれば幸いに思います。

Contents

- ・ 顔貌の基準からみた審美 *Dent Facial Esthetic*
- ・ 解剖学的形態から見た審美 *Anatomical Morphology for Anterior*
- ・ 歯肉審美 *Pink Esthetic*
- ・ 審美と機能の両立 *Balancing the esthetic and function*